

医薬品を正しく購入するための

説 明 文 書

要指導医薬品

使用前には必ず添付文書を読んで下さい

| | | |
|---|-----------------------------------|---|
| 1 | 名 称 | エンペシドLクリーム |
| 2 | 成分・分量 | クロトリマゾール 1% |
| 3 | 用法・用量 | 成人(15歳以上 60歳未満)、1日2～3回適量を患部に塗布する。 ただし、 <u>3日間</u> 使用しても症状の改善がみられないか、 <u>6日間</u> 使用しても症状が消失しない場合は医師の診療を受けること。 (1)外陰部症状のみの場合:本剤を使用すること。ただし、腔剤(腔に挿入する薬)を併用することが望ましい。 (2)腔症状(おりもの、熱感等)を伴う場合:腔剤(腔に挿入する薬)を併用すること。 |
| 4 | 効能・効果 | 腔カンジダの再発による、発疹を伴う外陰部のかゆみ(過去に医師の診断・治療を受けた方に限る) ただし、腔症状(おりもの、熱感等)を伴う場合は、必ず腔剤(腔に挿入する薬)を併用すること。 |
| 5 | 保健衛生上の 危害を防止 するために 必要な事項 | 1. 次の人は使用しないでください (1)初めて発症したと思われる人。 (2)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (3)15歳未満又は60歳以上の人。 (4)妊婦又は妊娠していると思われる人。 (5)発熱、悪寒、下腹部痛、背中や肩の痛み、色のついた又は血に染まったおりもの、魚臭いおりもの、生理の停止、腔からの不規則又は異常な出血、腔又は外陰部における潰瘍、浮腫又はただれがある人。 (6)次の診断を受けた人。糖尿病 (7)本疾病を頻繁に繰り返している人。(1～2ヵ月に1回又は6ヵ月以内に2回以上) (8)腔カンジダの再発かわからない人。 2. 次の部位には使用しないでください (1)腔周辺(外陰)以外の部位 次に該当する人はお申し出ください (1)医師の治療を受けている人。 (2)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (3)授乳中の人。 生理中は使用しないでください。使用中に生理になった場合は使用を中止してください。その場合は治癒等の確認が必要であることから、医師の診療を受けてください。 |
| 6 | 薬剤師が必要 と判断 する事項 | |

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
2. 法令により、要指導医薬品は必ず、第一類医薬品は薬剤師が不要と判断した場合を除いて、情報提供を行います。
3. 使用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には使用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師にご相談下さい。